

県産材と低金利PR の構造見学会を開催

あんじゅホーム、ユーザーニーズに対応

地域工務店のあんじゅホーム（兵庫県神戸市、深見宗久代表）は県産材を活用した注文住宅物件の施工現場で26日・27日の2日間、県産材による家づくりと県産材活用で利用できる低金利の住宅ローン（25年間0・8%固定）PRを目的とした構造現場見学会を行う。



あんじゅホームの施工物件外観（上）と内観

長期優良住宅を標準仕様とする同社は、これまでも県産材を構造材の一部に使った物件の構造現場見学会を行っているが、県産材および優遇金利アピールを前面に出した見学会は初めて。行政の補助事業への認知が進み、近年高まっている地産材利用を望むユーザーニーズに応えた。

あんじゅホームの設立は2001年。本社を置く神戸市を中心に、自動車移動で1時間圏内となる北は三田、東は尼崎、西は明石までをメイン商圏に設定し、主に注文住宅事業を展開している。新築の供給規模は年間25棟前後で、このうち2・3割を構造材の柱材に県産のスギのムク材を使った県産材活用住宅として建築している。供給する物件規模は延床面積30坪前後（建物本体価格約2千万円）が中心だ。

県産材と優遇金利をア

「兵庫で木造を建てるなら地元の木を使った家建てたい」との要望が増えているため」（同社）だ。見学会では県産材の特長説明と共に「兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度」の一例として、構造材の総材積として60%以上80%未満の割合で県産材を使用すると、特定の金融機関で金利が25年間0・8%固定の住宅ローンを使える利点をPRする。

また、このほか、プラン例として建築中の物件で採用している空間を有効活用できるスキップ・フロアの間取り説明や、建築工法のオプションとして扱っている「通気断熱WB工法」や「SE構法」の紹介も合わせて実施した。

「施。地元の木を使った快